

トリプルネガティブ乳がんの臨床病理学的、免疫組織化学的研究

2005年9月から2014年10月までの間に、乳がんのため当院で手術をされた患者さんの内、乳がんの性格がトリプルネガティブ乳がんと診断された約30人の病理標本を用いて、未だ解明されていないトリプルネガティブ乳がんの性質について研究します。

研究の背景：

- 乳がんは女性が患うがんの中で最も多いがんで、近年増加傾向です。
- 乳がんの中で、トリプルネガティブ乳がん（女性ホルモンを栄養にすることなく、また、HER2というがんの増殖に関与するアンテナをもっていない性格：下図参照）は、高率に転移などを生じ、予後が悪いのが現状です。

図：

乳がんの性格		ホルモン受容体	
		陽性	陰性
HER2 蛋白	陽性	ルミナル・HER2 タイプ	HER2 タイプ
	陰性	ルミナルタイプ	トリプルネガティブ タイプ

- 一方、トリプルネガティブ乳がんの性格を決める仕組みの解明は、研究途上の段階です。また、予後の改善に結びつくような分子は、未だ、明らかになっていません。

研究の目的：

- 今回の研究は、トリプルネガティブ乳がんの原発巣の特徴を調査することによって、トリプルネガティブ乳がんの性質を明らかにすることを目的としています。
- この結果から、トリプルネガティブ乳がん患者さんの予後を改善する新しい治療法の開発につなげていきたいと考えています。

方法:

- 2005年9月から2014年10月までの間に、乳がんのため当院で手術をされた患者さんの内、乳がんの性格がトリプルネガティブ乳がんと診断された約30人の病理標本を用いて、臨床病理学的や免疫組織学的検討を行います。
- 対象の患者さんの診療録（カルテ）から、発症時の年齢、実施された治療内容、経過などの臨床病理学的な情報を収集します。

倫理的事項・個人情報保護に関する配慮:

- 本研究は、ヘルシンキ宣言、および文部科学省、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針」を遵守して行います。
- 松江市立病院倫理委員会の審査および承認のもとで行います。
- 診療録（カルテ）、病理標本の個人情報は、すべて匿名化されます。
- 研究対象の患者さんやご家族からのご希望があれば、その方の診療録（カルテ）、病理標本は研究に使用しませんので、下記連絡先までに申し出てください。

連絡先:

松江市立病院

〒690-8509

島根県松江市乃白町32番地1

TEL:0852-60-8000

FAX:0852-60-8005

乳腺・内分泌・血管・胸部外科 医師：内田尚孝

病理診断科 医師：吉田学